

GET READY FOR PLAIN PACKAGING

プレーンパッケージを めざそう

2016年5月31日 世界禁煙デー

販売促進につ
ながるロゴ・色
彩・ブランドイ
メージ表現は
禁止

外表面には指
定色以外使用
禁止

ブランド名・製
品名は指定
色・フォント以
外使用禁止



有害警告画像
を必ず表示す
る事

2016年5月31日世界禁煙デー・テーマ
「プレーンパッケージの準備をしよう」



World Health
Organization

31MAY:WORLDNOTOBACCO DAY

www.who.int/world-no-tobacco-day

#NoTobacco

翻訳:一般社団法人 日本禁煙学会 理事 松崎道幸

目次

2016年5月31日は世界禁煙デー.....	02
プレーンパッケージとは何ですか？.....	03
プレーンパッケージ化は、何を指すのですか.....	04
プレーンパッケージを実施している国はありますか？.....	04
プレーンパッケージでタバコ消費を減らすことができるのですか？.....	04
プレーンパッケージ実現のために必要なことは？.....	05
タバコ産業の妨害をふせぐために.....	05
さらに詳しい情報の入手先.....	05

2016年5月31日は世界禁煙デー

タバコのパッケージは動く広告です。タバコの消費を増やす役割を果たしています。タバコのパッケージデザインは、タバコをより魅力的に見せ、タバコ消費を宣伝して広めます。それだけでなく、有害警告表示から注意をそらし、禁煙せずに、より害のタバコに替えましようとする喫煙者を欺いて禁煙させないようにする役割も果たしています。

もしタバコのパッケージから、これらの装飾や光沢など人を欺く要素が完全にはぎ取られたなら、残るのは、毎年600万人の命を奪い、それ以上の人々を不健康に追い込む、依存性のある、恐るべき商品を入れた箱に過ぎなくなる。プレーンパッケージ化は、タバコ製品が悲劇と不幸をもたらす商品に過ぎないとの認識させるうえで大きな助けになります。

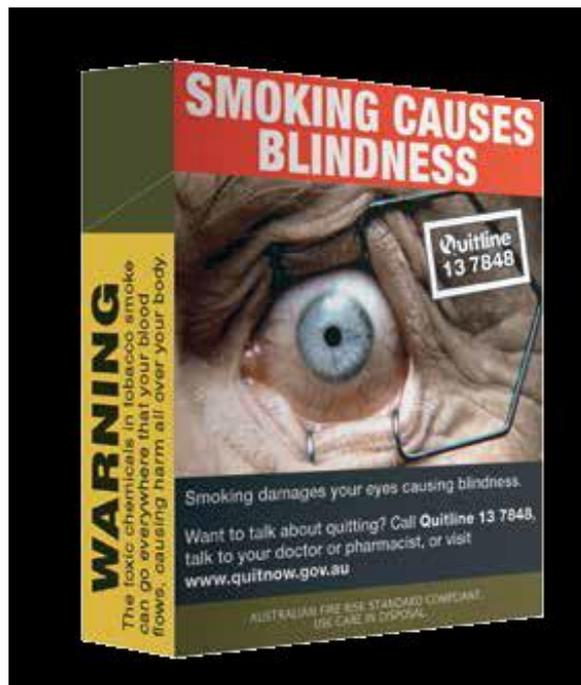


プレーンパッケージ化とは何ですか？

プレーンパッケージ化 (standardized packaging とよばれる) とは、「タバコの箱にロゴ、色彩、ブランドイメージや販売促進の役割を果たす一切のデザインを禁止し、ブランド名と商品名を決められた色とフォントだけで表示する(プレーンパッケージ化)」ことを指します。¹

プレーンパッケージは、「政府の当局が定めた白と黒のような補色 2 色を用いて、ブランド名、商品名、会社名、連絡先、タバコ製品のニコチン・タールイールドの表示だけを許可し、ロゴなどの表示を認めない。ただし有害警告表示、納税スタンプなどの政府当局が表示を義務付けたものは認める。使用するフォントスタイルと字の大きさは定められたものを使うこと。パッケージの形、大きさ、材質も定められたものを使うこと」²とも表現されています。

FCTC 第 11 条 (タバコ製品の包装とラベル) および 第 13 条 (タバコの宣伝、販売促進、スポンサー活動) 施行ガイドラインは、締約国にプレーンパッケージの導入を考慮するよう勧告しています。



¹ Guidelines for Implementation of Article 11 (Packaging and labelling of tobacco products) of the WHO Framework Convention on Tobacco Control, paragraph 46.

² Guidelines for implementation of Article 13 (Tobacco advertising, promotion and sponsorship) of the WHO Framework Convention on Tobacco Control, paragraph 16.

プレーンパッケージ化は、何を指すのですか？

プレーンパッケージ化は次のことを目指します。

1. タバコ製品の魅力を減らす。
2. タバコパッケージから宣伝、販売促進ツールとしての機能を除去する
3. 禁煙せず害の少ないタバコ製品に替えようと呼びかけるデザインテクニックの問題に注意を喚起する。
4. 有害警告表示の視認性と有効性を向上させる。

FCTC は、タバコ規制の成否が、相互補完的な多分野対策を包括的に推進することにかかっていると認識しています。この視点に立つと、プレーンパッケージは、有害警告表示の義務化、タバコの宣伝、販売促進、スポンサー活動の包括的禁止をはじめとした需要低減対策の一環として推進される必要がある事がわかります。

プレーンパッケージを実施している国はありますか？

2012 年 12 月、オーストラリアは、タバコのプレーンパッケージ化を世界で最初に全面的に実施した国となりました。現在、プレーンパッケージ化への動きは、世界各国で見られます。フランス、アイルランド、大ブリテンおよび北アイルランド連合王国(いわゆる英国のこと)では、2016 年 5 月からプレーンパッケージ化を実施する法律を制定しました。プレーンパッケージ法制定が間近となっている国も複数あります。

プレーンパッケージでタバコ消費を減らすことができるのですか？

プレーンパッケージ化政策が有益であるという証拠はあまたあります。実験的研究調査、特定階層を対象にした調査によって、プレーンパッケージ化は、その目的を達成していることが証明されています。これらの結論は、FCTC 第 11 条、13 条施行ガイドライン実施後に行われた 3 件のシステマティック・レビューによって支持されました。

オーストラリアで先駆的に実施されたプレーンパッケージ化が、公衆保健上の目標を実現していることが示唆されています。オーストラリアにおいてプレーンパッケージ化が実行されたのち、タバコ製品の訴求力が減り、有害警告表示の効果が増し、タバコの害に対する誤った認識が減ったことが明らかになりました。同時に行われた専門家の分析によれば、プレーンパッケージ化と同時に有害警告表示面積の拡大、新たな有害警告表示の導入が行われた結果、それまでも下降傾向だった喫煙率のトレンドがさらに著明に下降したことがわかりました。報告書によれば、プレーンパッケージ化の始まった 2012 年 12 月から 2015 年 9 月までに、オーストラリアの 14 歳以上喫煙

率が、0.55%低下しました。³ 予測モデルによれば、この期間中に喫煙率は 17.77%になるはずでした。しかし、プレーンパッケージ化によって、17.21%まで下がったのです。プレーンパッケージ化が喫煙率低下にもたらす効果は今後さらに大きくなると考えられます。

プレーンパッケージ実現のために必要なことは？

- 政策決定者は、包括的タバコ規制対策の一環としてプレーンパッケージ化法令制定の準備をすることが望まれます。
- それぞれの国のタバコ規制プログラムの流れと合致する形で、プレーンパッケージ化の実施に向けた公式計画とタイムテーブルを作る必要があります。
- プレーンパッケージ化の準備のために政策決定者がなすべきこと：
 - 有害警告表示を強化する
 - タバコの有害性を隠すパッケージ・ラベリングの禁止措置を強化する
 - タバコの宣伝、販売促進、スポンサー活動禁止措置を徹底化する
 - これらの対策の万全な実施をはかる
- 政策決定者は、FCTC 第 5 条 3 項に基づいて、プレーンパッケージ化の政策プロセスに対するタバコ産業による妨害を防ぐ必要があります。

タバコ産業の妨害をふせぐために

タバコ産業がプレーンパッケージ化に強かに抵抗することが予想されます。特に、法律阻止のために訴訟を行う可能性が大きいのです。例えば、オーストラリアでは、地方裁判所と二国間投資協定のもとでのタバコ産業の提訴は却下されたが、WTO に対する提訴を続けています。

このようなタバコ産業の抵抗に対しては、プレーンパッケージ化法案のプロセスを慎重に運ぶことが必要ですが、プレーンパッケージがタバコ規制政策の包括的アプローチにとって、不可欠かつ有効な対策であることはしっかりと証明済みである事に何の懸念もないことを強調しておきます。

さらに詳しい情報の入手先

プレーンパッケージ法の制定と施行に関するより詳しい情報は下記から入手できます：

www.who.int/tobacco

³ Post-Implementation Review Tobacco Plain Packaging, 2016, Australian Government, Department of Health, 26 February 2016, <https://ris.govspace.gov.au/files/2016/02/Tobacco-Plain-Packaging-PIR.pdf>, paragraph 107.